



大三小だより

令和 8 年 6 月 3 0 日
練馬区立大泉第三小学校
校長 高野 正之
No. 704

何のために

校長 高野 正之

今月 13 日に、学校運営協議会（コミュニティ・スクール 略称：CS）実証校として、初めての会合を開催しました。地域・保護者の代表である 11 名の協議会委員の方々と全教員で、目指す学校像について話し合いました。

文部科学省 CS マイスター・東京都 CS アドバイザーとして、幅広く活躍する四柳千夏子さんからは、協働するうえで、多様な意見が出るのが大事であるとお話いただきました。子供たちが幸せだと思えることが幸せだと思える人々が、主体者となって学校をつくっていくことの重要性を示してくださいました。

「大切なのは、『何をするか』ではなく、『何のために』するかです。」

「みんなが教育の当事者です。まずは、できることから取り組んでいきましょう。」

今月 8 日からは、数年ぶりに地域未来塾（放課後学習教室）が再開しました。希望する 2・3 年生のために、地域の方々が綿密に準備をし、工夫しながら学習支援に取り組まれています。2 回開催された地域未来塾には、希望したほぼ全ての子供が参加をし、意欲的に学習する姿が見られました。授業とは違った雰囲気の中で、学びを深めることの大切さを改めて感じました。

先日、6 年生と、こころの劇場で鑑賞したミュージカル『はじまりの樹の神話』のテーマは、「思いを声にすれば、きっと伝わる、つながっていく」でした。これから始まる地域・保護者との連携・協働活動においても、この視点が大切だと感じています。多くの方々の思いをつないでいきたいです。

● 7 月の生活目標 「身の回りをきちんとしよう」

机の中の学習用具等の整理整頓をしっかりするよう指導していきます。名前が書かれていない落とし物が増えてきているので、家庭でも持ち物の記名をご確認ください。また、手洗いの励行を呼びかけていますが、ハンカチを持っていない児童も見かけます。登校時に忘れずに持つよう保護者の方からもお声掛けください。



■ 校内研究について

本校では、子供たちが「分かる・できる・楽しい」と実感できる授業づくりを目指し、校内研究に取り組んでいます。教員同士が授業を公開し合い、子供たちの学びの様子を基に意見を交わしながら、より良い指導方法について研究を重ねています。

今年度の研究授業予定： 7 月 1 日（水）2 年
9 月 25 日（金）3 年
10 月 27 日（火）6 年
12 月 9 日（水）いちよう学級



今後も、一人一人の子供たちの良さや可能性を伸ばし、主体的に学ぶ力を育めるよう、教職員一丸となって研鑽を積んでまいります。